



Chu-San-Kan press

チュウサンカンプレス

研究の森から中山間地域を応援します

2017
Summer
Vol.25

中山間地域研究センター 大特集!!

地域研究

林業

農業

畜産



夏・秋
合併号★



島根県中山間地域研究センターとは…

中山間地域の抱える課題解決に向け、地域研究、農業・林業・畜産を中核とした横断型研究を行う全国で唯一の研究機関です

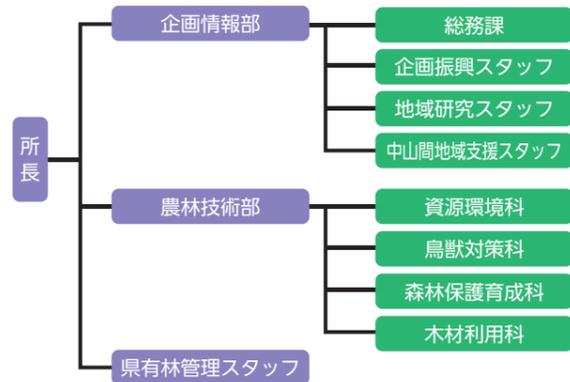


センター全景

中山間地域は、農林産物の生産や地域住民の生活の場であるとともに、国土保全などの多面的機能を担っています。しかし、過疎・高齢化の進行、また農林業の生産活動の停滞等から、集落機能の維持存続や公益機能の維持保全が困難となりつつあります。

こうした状況を打開・克服し、中山間地域の活性化を図るため、当センターでは、地域の調査研究並びに農業、畜産及び森林・林業の試験研究を総合的に実施するとともに、研究成果を活かした研修機会の提供、技術指導、情報提供等を行っています。

中山間地域研究センターの組織



島根県の「中山間地域」(H29.3時点)



地域研究スタッフ・中山間地域支援スタッフ

中山間地域の振興をテーマに、情報収集、研究、モデル構築、現場支援、情報発信、研修などを実施しています



地域とともに歩む

【生活機能の確保・生活交通の確保・地域産業の振興】
住民アンケート・地域計画作り・GIS活用・郷づくりカルテ・インターンシップ

地域研究スタッフ

将来の人口や暮らし・経済の分析から、地域に安心して住み続けることができる仕組み（小さな拠点づくり）や手法を研究し、現場支援へ繋げています。

中山間地域支援スタッフ

地域の話し合い・計画づくりなど地域の動きに直接関わり、事例紹介や状況整理など市町村と連携した支援をしています。地域の課題解決に必要な研修も行っています。



【展示ホール】
中山間地域研究センターの研究成果や住民の方々の活動についてパネルや実物を紹介展示しています。



【研修宿泊棟】
研修受講者が利用する宿泊施設で、24名の宿泊が可能です。

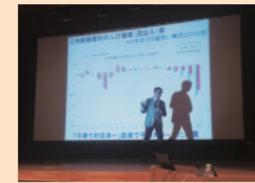


【図書室】
中山間地域に関する資料を集めており、どなたでも利用できます。



ワークショップ

地域の人や団体の課題や思いが共有され、地域づくりの動きに繋がるようお手伝いしています。



人口推計

現在の人口傾向が継続した場合の地域の将来人口や移住定住が進んだ場合の予測を行っています。



GIS活用

農地や商店など様々な情報が入った地図を重ね合わせることで、課題を見える化するお手伝いをしています。



地元学

地域で暮らす人が外の人々の力を借りて、自らの地域をより深く知ることができる手法です。

お問い合わせ / TEL : 0854-76-3830

ホームページ / <http://www.pref.shimane.lg.jp/life/region/kikan/chusankan/chiiki/>





冬は厳しい寒さと積雪に見舞われ、農地が狭小で鳥獣被害の不安もあり、人口減少や高齢化が進んでいる島根県の中山間地域ですが、昼夜の大きな寒暖差、豊かな森林と森が育む豊富な水や多様な動植物、小規模でまとまりのある集落など、農林業にとって恵まれた環境でもあるのです。

資源環境科では、これらの環境・資源を活かし、農業、畜産、林業等の連携によって「地域の生業(なりわい)」を創るための研究を行っています。

畜産

水田里山を活用した放牧経営モデルをつくる



水田放牧

放牧で農地を管理します。

中山間地域で高収量を実現する

農業



トマト年2期作

冬期加温で収穫期を延長し、収量を向上させます。

島根の酒造りはここから始まる

県内に供給する酒米の原種を作っています。



酒米

地域の生業を創る!



農業用ボイラー

未利用資源をエネルギーに変える

農業・畜産・林業をつないで木質バイオマスや牛ふんペレットを燃料にした農業用ボイラーをつくりました。

林業

森林資源を地域特産品にする



クロモジ

自生する樹木の畑地栽培を可能にします。

県オリジナルのきのこ品種をつくる



エノキタケの育成品種

県内の野生きのこを親にして栽培品種をつくります。



鳥獣対策科では、イノシシ、ニホンジカ、ツキノワグマ、アライグマ等の生息分布や生息数の変動、被害実態の把握、効果的な被害対策などの調査研究を行って、「人と野生動物との共存」を図っていきます。



ツキノワグマの生息地(奥山)調査

生息地の森林の状態をみるために、資源量や痕跡の数を調査しています。写真は、越冬穴(クマが冬眠していた場所)の調査風景。



ICT わなを使ったニホンジカの捕獲試験

中国山地で増え始めたシカを、効率的に捕獲するための試験を行っています。



発信機



アライグマの行動追跡調査

GPS 発信機を装着し(写真左)、追跡を行って(写真右)、どのような場所・環境を利用しているのかを明らかにするための調査をしています。

各獣種の被害対策パンフレットや研究情報をホームページで公開しています。



↑
被害対策パンフレットはこちら



森林保護育成科

循環型林業の実現を目指して課題を解決します



木材利用科

木材産業の「売れるものづくり」を支援します



島根県は木を「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業の確立を目指しています。森林保護育成科では、それを実現させるための苗木の育苗・植栽から伐採までの効率的な作業技術や体系の確立に向け、「木材の生産性向上技術」、「苗木生産技術」及び「森林再生技術」の開発に取り組んでいます。

広葉樹林の循環利用の研究



(広葉樹の萌芽状況の確認)

萌芽再生力が弱い高齢大径化した広葉樹林の再生手法を研究しています。

低密度森林再生の研究



(低密度で植栽したスギの林地)

植栽後の手入れのコストを削減するため、植栽本数の少ない森林の再生手法を研究しています。

森林病虫害の防除の研究



(松枯れが大発生した森林)

森林で発生した病虫害の生態・拡大状況・対策について調査します。

架線集材による低コスト木材生産の研究



(架線を使った集材)

急傾斜地でも効率的に木材を搬出できるよう、機械を使った作業方法を研究しています。

コンテナ苗を使った低コスト造林の研究



(コンテナ苗)

(コンテナ苗の専用育苗容器)

植栽のコスト削減の可能性があるコンテナ苗について、活用方法を研究しています。

伐る



育てる



使う



植える



何をしているの？

循環型林業の確立のためには、丸太を製材品や合板及び集成材等へ加工して使うことが必要です。当科では、製材工場や合板工場といった木材を扱う産業において、より良く魅力ある製品が生産されるよう技術面での研究を行い、県内木材産業の「売れるものづくり」を支援しています。また、これにより県産木材の利用が拡大して林業が振興し、中山間地域が活性化することを期待しています。

どんな研究があるの？

木造住宅を建てる時に使われる柱や梁等の製材品を高品質化するために、木材がむらなく乾く技術を研究し、製材工場に提供しています。また、木材の強度を研究し製材品の強度性能等を建築に携わる方にお知らせしています。さらに、異樹種3層パネル、準不燃木材及び隠岐の黒松天然無垢床材（フローリング）等の県産木材を使った特色ある製品を開発しています。

木材乾燥技術の研究



スギ梁材の乾燥試験

木材強度の研究



スギ梁材の強度試験

県産木材を利用した特色ある製品開発



異樹種3層パネル



準不燃スギ
薬剤処理で木を燃えにくくする



隠岐の黒松天然無垢床材
(フローリング)



県有林管理スタッフ

県有林を管理・経営しながら、森とのふれあいの機会を提供しています



県有林ってなあに？

島根県が所有・管理する森林です。総森林面積は約 1690ha です。

どこにあるの？

飯南町（和恵・下来島・頓原・八神）
雲南市（吉田）、邑南町（瑞穂）
の県内6か所にあります。

「県民の森」

和恵・頓原・吉田3地区の県有林は平成5年より「県民の森」として一般に開放し、自然豊かな森林とのふれあいの場として広く利用いただいています。



森とのふれあいの場

県民の森 ブナとサンカヨウの山と知られる大万木山（標高 1,218m）を中心に、17本の登山ルート（遊歩道 36,270m）が整備されています。



条件が良ければ半透明の姿に出会えることも…



おおよろぎさん

県民の森ふれあい講座

季節の山歩きや木工体験を定期的で開催しています。森林浴や縦走など、目的や体力にあわせて、様々な森林を楽しむことができます。

ご参加お待ちしております★



天然林

県有林の60%を占め、標高800m付近からブナやミズナラが多く分布し、豊かな生態系が育まれています。

人工林

木材生産を目的に、スギやヒノキ、マツが植えられています。林業研修の実習地としても利用されています。

森林整備

県有林を適切に管理していくために、5年おきに「管理・経営計画」を策定し、人工林を中心に間伐などの森林整備を行っています。

木材生産

間伐等で生産した木材は木材市場を通じて県内に流通させ、小径木など出荷できない材についてもチップ用として販売し、木質資源の有効利用に努めています。



林道等の維持管理

林道 19本 (29,461m)
作業道 8本 (6,380m) を管理しています

森林管理のためだけでなく「県民の森」へのアクセスや地域の交通網としても利用される林道は、車両が安全に通行できるよう維持管理に努めています。



4月はコツコツ除雪も…

雪の量が別世界ですネ…



お問い合わせ / TEL : 0854-76-2302

ホームページ / <http://www.pref.shimane.lg.jp/admin/region/kikan/chusankan/yama/>

編集者のつぶやき 今回の Chu-San-Kan press は、2002年7月に当センターが飯南町の現在の施設で業務を開始してから今年で15年を経過して作られた特別号となっています。本誌をご覧になって、少しでもセンターのことを知って頂けたらと思います。(M.K)

次号 特集予告

・地域研究スタッフ「子育て世代に選ばれる地域は？」

中山間プレス Webサイト



島根県中山間地域研究センター情報誌

Chu-San-Kan press

研究の森から中山間地域を応援します

2017 Summer Vol.25

編集・発行

島根県中山間地域研究センター
〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207
TEL 0854-76-2025 FAX 0854-76-3758

WEBで検索